

## 第 43 卷 PDF 読本



伊勢崎駅



# 東武鉄道

2024年12月27日 歩く鉄道作家 檜原 勉

<目次>

はじめに

第1章 東武伊勢崎線（浅草～伊勢崎：営業キロ 114.5 km）・・・6

第2章 東武日光線（東武動物公園～日光：94.5 km）・・・28

第3章 東武鬼怒川線（下今市～新藤原：16.2km）・・・・・・・・・・41

第4章 東武宇都宮線（新栃木～東武宇都宮：24.3 km）・・・・・・・・69

第5章 東武桐生線（東小泉～赤城：29.4 km）・・・・・・・・74

東武小泉線（館林～西小泉：13.2 km）

第6章 東武佐野線（館林～葛生：22.1 km）・・・87

第7章 東武大師線（西新井～大師前：2.0 km）・・・92

東武亀戸線（曳舟～亀戸：3.4 km）

第8章 東武アーバンパークライン（大宮～船橋：62.7 km）・・・97

第9章 東武東上線（池袋～小川町：64.1 km）・・・109

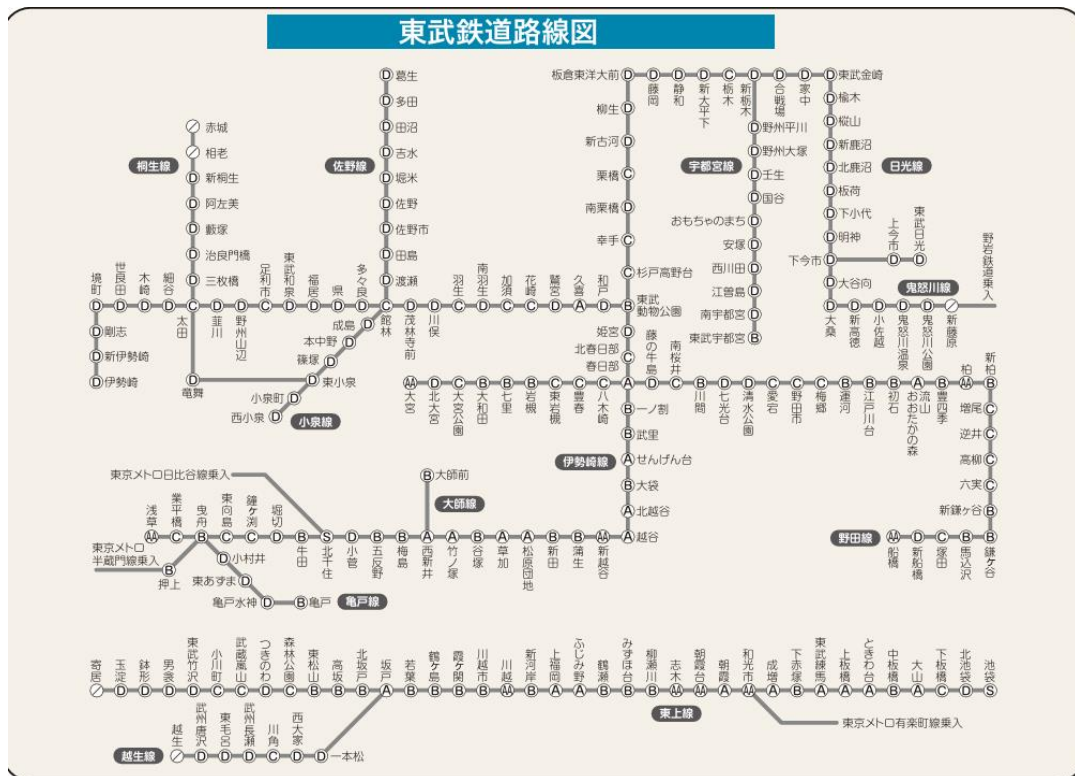
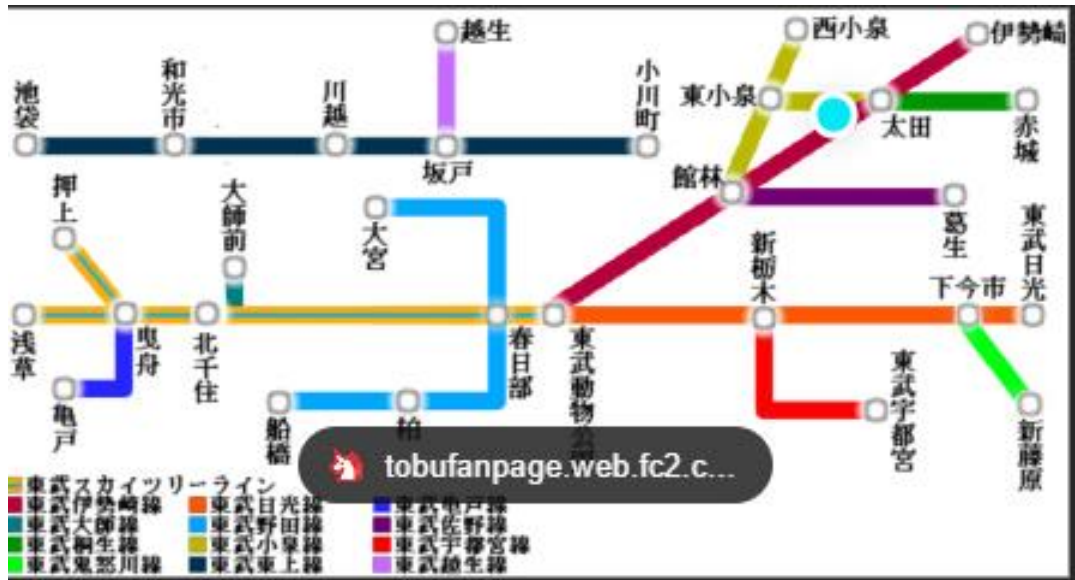
第10章 東武寄居線（小川町～寄居：10.9 km）・・・119

東武越生線（坂戸～越生：10.9 km）

第11章 東武鉄道リベンジ・・・・・・・・125

総営業キロ 468.2 km

# 東武鉄道路線図



## はじめに

本著書はデジタル形態のシリーズもので、「こだわり鉄道つたい歩き」よる PDF 読本旅日記の手記記録です。これまでの 5 巻（うち 2 巻は書籍）については、稚内から鹿児島までの日本縦断の旅について描いたもので、お陰様で執筆が完了しました。

引き続き、第 6 巻目からは、“日本横断歩き鉄の旅”について連載しています。第 38 弾目として、山手線・東北本線・常磐線・両毛線などに接続する、東京都・埼玉県・栃木県・群馬県を走る、東武鉄道の旅（総営業キロ 468.2 km）について執筆させて頂きました。

本作品はカッシー館にある榎原勉文庫拡充で閲覧可能です。また、国立国会図書館でご承認を得れば、通算 53 作目の著書として国立国会図書館でも閲覧できます。

（2003 年 11 月～2022 年 12 月で踏破）

※第 1 章～第 10 章の駅舎掲載不備は、第 11 章（東武鉄道リベンジ）に基づき修正した。

こだわり鉄道つたい歩きとは、カッシー館でもご紹介している通り、九ヶ条から構成されます。

1. ウォークマンを聴きながら一人歩きを楽しむ
2. “鉄道案内人”に従って各駅を踏破する
3. メモや写真をとりながら筋書きのないドラマを楽しむ
4. 必殺仕事人の心境で歩く
5. 出発点は先憂後楽の考えに基づき決める
6. 歩く鉄道営業キロは季節を考慮して決める
7. 活動記録をとっている
8. 青春 18 きっぷを極力活用する
9. 東横インを極力活用する

<ご参考>

本著書に登場する駅舎は、“日本横断歩き鉄の旅“PDF 読本シリーズ中、カッシー館のブログに登場する「榎原勉文庫拡充」にて、次のPDF 読本からダイジェスト版でもご閲覧頂けます。

第 41 編（日本横断歩き鉄の旅）

# 東武鉄道



東武博物館 東武スカイツリー

2022年12月12日 歩く鉄道作家 榎原 勉

## 第1章 東武伊勢崎線（伊勢崎～浅草）

含む“東武スカイツリーライン”（浅草～東武動物公園：営業キロ 41.0 km）

### 第1節 伊勢崎～細谷

伊勢崎(10:39)～新伊勢崎(11:10)～剛志(12:05)～境町(13:40)～世良田(14:25)～木崎(15:30)～細谷(16:37)

平成17年の第1歩は、1月22日（土）伊勢崎線の挑戦となる。この線は数年前からやろうと思っていたが、他の線を優先した関係でやっと本日からとなる。本日は朝から快晴であった半面、風を冷たく感じた。南林間駅6時40分発の電車で伊勢崎線の乗り継ぎ駅である久喜駅を目指す。当初南林間駅6時59分の電車を想定していたが、早く準備ができた関係で20分程度予定より早まった。その関係で、久喜駅で待ち時間が多くなる。不案内な鉄道だけに早く久喜駅に着きたかった。6時59分の電車だと、久喜駅に8時58分に到着し、9時8分の電車まで10分しかなく、切符購入に時間を要し乗り遅れる恐れがある。そのような事態が発生した場合、次発の電車は10時10分で、1時間位ロスタイムとなるからである。新宿駅から久喜駅までが820円、久喜駅から伊勢崎駅までが780円精算に要した。本日は格別風が冷たく、乗客もぎりぎりまで駅構内におり、発車時間が近づいて来たところでホームに下りる人達が多かった。



※伊勢崎駅

6両編成の8時59分の準急館林行きに乗り、9時8分発の伊勢崎行きを館林駅で待つことにする。準急と言っても、久喜駅以降は各駅停車であった。久喜駅の先の鷺宮駅は数年前友人の通やで記憶があったが、鷺宮駅以降は初めての乗車となり風景は新鮮であった。ただし、3年前両毛線踏破した足利や伊勢崎の駅名が登場するが。途中羽生駅には近い将来歩いてみたい秩父鉄道が接続されていた。羽生駅を越えると利根川が横たわっていた。館林駅までは複線であり上り電車の離合に待ち合わせがなく順調に進んだが、館林駅以降は単線となり離合待ち合わせに20分程度要した。館林駅止まりは5番ホームに9時28分停車する。お隣の3番ホーム(4番ホームは欠番)で伊勢崎駅行きを10分待ち合わせることにする。運良く待ち合わせ部屋があったが、冷暖房施設がなく肌寒さを感じた。乗客は14~15名いた。冷暖房施設のある小田急線等とは雲泥の差である。やっとのことで9時38分伊勢崎行きの電車 comes。電車に乗ると、車内は待合室と対照的に温かく感じた。太田駅で下車した30歳台くらいの女性が美味そうにサンドイッチを頬張っていた。館林駅以降は単線の関係で、上り電車や特急電車の待ち合わせで伊勢崎駅まで通算で20分位余計に時間を要した。待ち合わせ中4両ドアのうち真ん中のドアを暖房効果から閉めたが、何分本日は凍りつくような冷たい風が気になり仮眠もできない状態であった。東武鉄道も西武鉄道と同様、支線等が随所にあった。羽生駅、館林駅、太田駅しかり。これらの支線も何とか今年中に踏破したいものである。



※新伊勢崎駅、新伊勢崎駅への路

やっとのことで、10時39分伊勢崎線の終点伊勢崎駅に到着する。この駅は2週間も早い桜本番の平成14年3月21日(木)春分の日に来たことがあり懐かしさを感じた。3年の月日が流れた。早いものである。鉄道を左手に見て伊勢崎市街を通り、11時10分新伊勢崎駅を踏破する。新伊勢崎駅から数分歩くと、鉄道は田園の真ん中を走る光景に変化する。11時35分北千本町交差点を通過。この辺りから伊勢崎線が高架となる。鉄道を右手にした剛志駅には12時5分通過。1分程度行った先に粕川(かす)を跨る保泉橋(昭和58年1月竣工)を通過する。ここから見える山々は雪化粧をしてとても綺麗だった。3年前と同じような光景であった。粕川は両毛線の国定駅踏破の際登場し

た川で懐かしさを感じた。その他、高崎線の際に踏破した本庄や深谷という地名が道路案内に随所に出てきた。堺町駅手前の食事処みやまに 12 時 30 分入りアジフライ定食を注文する。注文品が出でくるまで 20 分位と時間を要したが味はなかなかのものであった。



※剛志駅、境町駅

13 時過ぎ県道 14 号線（伊勢崎・深谷線）を通り、蚕のふるさとの境町駅を目指す。途中、踏み切りがあった。13 時 40 分到着。早川には百羽位の鴨がいた。農道を通り、県道 69 号が頭上にある世良田（せらだ）駅には 14 時 25 分に到着。もう少しでこの駅を見逃しそうになるが、下り電車が来て駅があることに気がつく。リカバリーに 10 分程度要するが、200m 位先の世良田駅まで引き返す。この駅には徳川氏発祥地の看板があった。駅舎は 5 坪程度のこじんまりした建物であった。分かりにくい箇所にあったので、見逃す恐れは十分ある。住宅街を通り、木崎駅を目指す。



※世良田駅、木崎駅

途中、赤色の鳥居の村社矢抜神社には 14 時 55 分、天台宗江田山最勝寺には 15 時到着する。木崎駅には 15 時 30 分到着する。今までの中では、一番賑やかな駅前であった。工場の多い道路を通り、細谷駅には 16 時 37 分に到着する。まもなく 15 分位で日



没の時間帯である。夕日は西の空で最後の明かりを輝かせていた。ここで、3.1Km 先の太田駅を目指そうと考えたが、まもなく日没だし、次の浅草行きまで 10 分と効率な待ち時間だったのでこの駅で本日アップする。細谷駅 16 時 47 分の電車で自宅を目指す。久喜駅は 18 時 26 分の上野駅行きであった。赤羽駅で居眠りにて埼京線に乗り換えしなかったため、20 分位遠回りとなり自宅には 21 時となる。万歩計の方も操作ミスで細谷駅 (41,846 歩) からカウントされず。43,000 歩に補正する。



※細谷駅

## 第 2 節 細谷～館林

細谷(10:19)～太田(11:20)～菫川(12:05)～野州山辺(13:17)～足利市(13:50)～東武和泉(14:22)～福居(14:55)～県(15:27)～多々良(16:20)～館林(17:30)

伊勢崎線の第 2 弾は、2 週間後の 2005 年 2 月 5 日 (土) 挑戦。5 時過ぎに起床し、ウォーキングの準備をする。本日は長男が初台で仕事があることなので、南林間駅まで家内に送ってもらう。6 時 20 分の電車で新宿に向かい、7 時 24 分の宇都宮行きに乗る。JR 久喜駅には 8 時 16 分到着。しかし、伊勢崎方面の電車は 9 時 8 分発までなく、時間調整と寒さしのぎのため駅構内の UCC に入る。本日も快晴。風は強かったが、前回に比べ、立春を過ぎたのか何となく寒さが和らいだような気がする。

本日も 8 時 59 分の館林行きに乗り、館林駅で 9 時 38 分発の伊勢崎行きを待つ。今日も前回と同様、館林駅下車の際、伊勢崎行きの電車の中でサンドを頬張っていた女性 (太田駅下車) と偶然にも出会う。偶然と言えば、外房線踏破シリーズのときも前日対面した学生グループと翌日出会ったことがある。世の中は狭いものである。途中、県駅 (あがた) で上り特急離合。福居・野州山辺で準急離合。菫川 (にらがわ) 駅でも特急離合。太田駅で 5 分待ち合わせ、桐生方面の特急赤城を待ち合わせる。細谷駅に 10 時 19 分到着。細谷駅には駅員が 2 名いて改札業務をしていた。線路沿いに 5 から 6 分行

った先に関東学園大学（太田市藤阿久町）があった。それで、右に迂回して太田への幹線道路に出る。太田駅は伊勢崎線に加え東武桐生線が交差しており、若干ではあるが歩く進路を複雑にしていた。その関係で鉄道に少しでも近づいた歩きをするため、この幹線道路をはなれ小道に入る。年度末になると道路工事を多く見かけるが、ここでもそれに準じ、道路工事していた。鳩が沢山いた太田駅南口には 11 時 20 分到着。



※太田駅



※レール撤去、葦川駅

駅前にはベルタウン（名店モール）や白木屋・魚民があった。少し行ったところに、富士重工（スバル）の工場があった。太田駅近郊は高架になっており、従来の線路の撤去作業の現場に初めて出くわす。4人の作業員が長い線路を特殊の機械で持ち上げ線路を外し、電気鋸で切断をしていた。太田駅から足利市駅までは鉄道の右側を歩く。葦川駅には 12 時 5 分到着。駅前に朝日タクシーの事務所があった。この駅で上り特急電車の通過あり。町道を通り、国道 407 号に出る。朝電車の中から野州山辺駅と葦川駅の間でボウリングの看板を見かけ、野州山辺駅への道しるべとして記憶していた。



※野州山辺駅

12時25分、ボウリング場の手前でめん処「利久」（植木野町）を見かけたのでこの店に入る。680円の日替わり定食（ミックスランチ）を注文する。私のウォーキングでは、昼食にどのような店に出会うか楽しみの一つでもある。また、店長・来客との出会いも神秘的でもある。恐らく最初で最後の店・人になるであろう。ウォーキングをしなければ絶対来ることがない空間への出会いがたまらない。12時50分この店を出る。



※足利市駅

しばらく歩いて町道に方向転換する。館林駅には東武小泉線を辿る方が早い。私のウォーキングのテーマは鉄道つたい歩きにしている関係から、足利市駅まで遠回りをして、館林駅を目指すことになる。野州山辺駅には13時17分通過する。農道を歩いた先にあった。伊勢崎線では鉄道を横断する幹線道路は高架していた。これまで東武鉄道を観察した限り、この幹線道路の近郊に駅があるケースが多かった。しかし、足利市駅はこれまでの位置関係と異なり、渡良瀬川と小高い山の間にあった。3年前の両毛線踏破の際は、足利駅近郊にこの川が流れているのは気づかなかった。足利市駅とJR足利駅の間は随分距離がある感じで、JR線らしきものは足利市駅からは全く見えなかった。500m位は離れているかも知れない。高架した鉄道の下を通り抜け、鉄道の左側に出る。ボウリング「スターレンズ」や紳士服のコナカが目にとまった。13時50分足利市駅に到着。駅前には、水戸証券や足利デザイン工科専門学校の建物があった。足利工業大学の看板もあった。駅からしばらく歩いた先に、渡良瀬川沿いに屋上に面白い3塔をもったマンショウ（NO8 陽光台）があった。



※東武和泉駅、陽光台（東武和泉駅への路）

この前に、人工の温泉施設があった。露天風呂やサウナのほか、漢方薬湯・檜風呂・美容風呂等もあった。それから、ユニクロやコジマの看板も見かけた。東武和泉駅には14時22分到着。無人駅であった。切符売り場は別棟にあった。ふくいのタクシーが一台止まっていた。福居駅をもう少しで通り過ぎそうになったが、200m位引き返し14時55分クリア。途中、村社赤城神社があった。



※福居駅、県駅

農道を通り、県駅と多々良駅を目指す。水田地帯が広がっており、遮るものがなく伊勢崎線での電車の動きをウォッチしながらの歩きとなった。県駅は農道から300m位北にあった。15時27分頃到着。まもなく上り下りの電車の離合があった。再度、南に戻り多々良駅を目指す。途中、200頭位いる肉牛の施設があった。30m位の川幅の矢場川を16時11分渡る。親子連れ狸の像が印象的な多々良駅には16時20分到着。



※多々良駅

多々良川（沼橋）を16時40分通過。県立館林美術館看板を16時45分通過し、館林駅には17時半到着。館林駅近郊で東武小泉線に出くわし、迷いそうになり、犬散歩の女性に聞き難を逃れる。本日の営業距離は23.2Km、万歩計は54,224歩である。昨年8月19日以来の20km踏破で、左脛が多少痛くなったが、充実する一日であった。これで、伊勢崎線踏破の見通しが立った。



※館林駅



左：茂林寺近郊

### 第3節 館林～鷺宮

館林(9:40)～茂林寺前(10:25)～川俣(11:20)～羽生(13:28)～南羽生(14:40)～  
加須(かぞ、16:05)～花崎(17:05)～鷺宮(18:05)

館林からの続きは、2005年3月20日(土)曇り空の中実施。本来ならば、昨日の19日挑戦する予定であったが、三男坊の大学合格祝いのパソコン購入と長男の新居場所の確認のため、本日となった。昨日は快晴で5月連休位の陽気であったが、今日は寒く平年の温度に戻った。数年前は、彼岸の中日、伊勢崎近郊で満開の桜を満喫した。

7時10分の南林間発の電車で現地に向かう。JR新宿駅で宇都宮行き8時7分、東武久喜駅で9時8分で伊勢崎行きに乗る。本日は久喜駅から館林駅まで鉄道に沿った道路状況を確認する。羽生駅から川俣駅にかけて500m位川幅の利根川が横たわっていた。ここで、南の方向に800m位迂回を余儀なくされるであろう。しかし、この難所以外は田園地帯が続いており特に障害物を見つけることができなかった。



※茂林寺寺前駅、茂林寺

9時40分、館林駅前で家族連れの狸の像を見かけたので記念写真を撮る。童話で登場する分福茶釜の茂林寺(もりんじ)の看板があった。電車の窓からは鉄道の左側(西)を歩こうと考えたが、茂林寺が右側(東)にあった関係で本日は利根川の横断を除き原則右側を歩く。茂林寺前駅には10時25分到着。この駅の手前には関東学園競技場があった。また、館林さくらまつり(3月26日～4月10日：世界一5000匹のこいのぼりの里：鶴生田川兩岸・多々良保安林・近藤沼)とつつじまつり(4月12日～5月10日：世界一のつつじ百家繚乱)のポスターがあった。



※茂林寺前、川俣駅

お目当ての茂林寺（10時39分着）はこの駅から300m位先にあった。寺の境内の両側には、30匹位の狸の像が私を出迎えてくれた。分福茶釜の狸の像の前でお土産屋のご主人に写真をとってもらおう。お土産に分福茶釜の文鎮を購入。この寺で10分位散策して、川俣駅（11時20分）を目指す。途中、明和町があった。この駅は鉄道の西側にあった。国道122号を通り、利根川にかかった昭和橋を横断する。利根川沿いの土手を歩けば昭和橋への道は簡単であったが、うまく連結されていないと判断し、土手から100m位離れた道を歩く。このため、遠回りをして昭和橋に通ずる道路に乗る。分離された歩道がなかったので恐る恐る渡る。隣に目をやると、新しい橋の工事をしていた。やっとのことで昭和橋を無事通過する。橋を渡ったところに、「史跡川俣関所跡」の案内板があった。慶長期間（1596～1615）に造られ、明治2年（1869年）に撤去されたとあった。この地点は海から150.5Kmのところと記されていた。



※羽生駅、南羽生駅

昭和橋から羽生駅への道、遠回りすることとなる。13時5分、県立羽生実業高校、13時15分、市立西中学校を通過。秩父鉄道の線路にぶつかる。この線路をつたい歩きして、羽生駅に13時28分到着。秩父鉄道も合流する駅だけあり、これまでの東武駅とは一味異なる近代的な建物であった。日本海庄やで遅い食事をとる。

13時45分この店を出る。高架した道路を越えた先に県立羽生高校（14時5分）を見る。鉄道の西側にある南羽生駅には14時40分到着。加須（かぞ）駅への途中、15時羽生市で火災発生のお知らせが羽生消防からある。15時10分、現場に駆けつける消防車と対面する。



※加須駅、花崎駅

加須駅（かぞ）には16時5分到着。駅前は賑やかな感じで、ダンス姿の二人の若い女性の像があった。17時5分、埼北自動車学校を通過するや否や花崎駅があった。時間も時間であったが、この地点では、20Kmに200m不足するので、2.7Km先の鷺宮駅まで頑張ることにする。途中、数年前に通やで来たメモリアルトネへの道の交差点に出くわす。ここから100m位歩くのに危険な道路を覚えていた。鷺宮神社の案内板を17時55分通過。この看板から右に150m位行った先に鷺宮神社があった。一方、左に100m位行った先に、うす暗くなって見にくかったが、鷺宮駅の看板が目に入る。この交差点から右折し200m位歩いた先に鷺宮駅があった。18時5分に本日の終着駅に到着。18時10分の電車で久喜駅に出て、18時23分の上野行きラビットで自宅に向かう。自宅には20時43分着。本日の営業距離は22.5Km、万歩計は66,246歩であった。今日は桑島さんから退院祝いに頂いたウォーキングマフラーがとても役にたった一日であった。



※鷺宮駅、鷺宮駅界限



## 第4節 鷺宮～北越谷

鷺宮(9:15)～久喜(10:25)～和戸(11:25)～東武動物公園(12:30)～姫宮(13:15)～  
北春日部(14:05)～春日部(14:47)～一ノ割(15:30)～武里(15:55)～  
せんげん台'16:22)～大袋(16:45)～北越谷(17:25)

伊勢崎線の第4回目は、4月16日(土)曇り空の中挑戦。愛犬セブンは家内に任せ、6時半家を出る。新宿駅で15分位待ち、本日も新宿8時7分の宇都宮行きで、久喜駅経由で鷺宮駅に向かう。鷺宮駅には9時15分到着。西口には川があり土手に沿って七分散りの桜並木を見かけた。しかし、前回のアップの東口から久喜を目指す。天気予報に反し、薄日が射してきた。道が途中から途切れたため、鉄道の踏み切りを越えて川に沿う道が続く鉄道の左側に出る。300m位続く川の土手には菜の花が満開であった。菜の花の何とも言えない香りが歩く道に沿って漂ってきた。また、モンシロ蝶が春の一日を楽しんでいた。この光景は小学校時代の懐かしい小道を思い出してくれた。下り特急電車を菜の花背景に写真に収めることができた。菜の花の続く川から一般道に出た先に真言宗豊山派寿徳寺(9時45分)があった。ここから概ね川に沿って歩く。宇都宮線踏破の際にクリアした久喜駅には10時25分到着。この駅は、頭上に東北新幹線の橋桁があった。この橋桁に沿って、和戸駅(11時25分)を目指す。和戸駅は、東武鉄道のトレードマークの駅で、グリーンの文字に紫の横線のある駅看板であった。駅前は一っさりしていた。鷺宮から久喜、和戸はそれぞれ4.4Km、3.8Kmと比較的距離があり歩き応えがあった。



※久喜駅、和戸駅

東武動物公園駅への道は、袋小路に何度も出会い、最終的には古利根川に遭遇し、遠回りとなる。雲の巣状のグリーン系の鎌倉橋(11時55分)を越えて、古利根川を渡る。この土手も菜の花が満開だった。向こう岸には桜並木の続く遊歩道があった。日光線の踏切を越える場面に出くわす。古利根川を渡った先に東武動物公園駅(東口)があった。

12時半だったので、食事をしようとしたが、適当な店が見つからず、先を急ぐ。13時15分、看板が東武鉄道らしくない姫宮駅前のそば処かねこ家で昼食。二人の先客があり、私が店にいるとき3名の客が来る。



※鎌倉橋、東武動物公園駅への路（古利根川）

姫宮駅から少し行った先には、東武鉄道の車庫（幅300m位か）があった。この近くに東武運輸、東武鉄道能力開発センター、東武電設工業があった。また、春日部自動車教習所や東武レクエイム聖殿春日部のグラウンドも見かけた。北春日部駅には14時5分到着。この駅から少し行った先に県立春日部工業高校があった。鳥居がユニークな村社女體神社に14時17分着く。ここから少しいった先に古隅田川（十文橋）と真言宗華林山最勝寺があった。この寺の境内は広いため、サーカスや大相撲の催しをかつてしたとあった。本日は「古」がつく川と二度目である。春日部駅の西口には14時47分到着。この駅を踏破するのは本日で3度目である。しかし、過去の2回は野田線挑戦への出発点であった。



※東武動物公園、姫宮駅

一ノ割（わり：15時30分）、武里（15時55分）、せんげん台（16時22分）と鉄道沿線に沿って歩く。せんげん台駅には「はなの舞」と「笑笑」のチェーン店があった。この駅近郊で雨の滴を感じる。大袋駅（16時45分）で小雨、北越谷駅（17時25分）で本降りとなり、目標である3.1Km先の新越谷駅までの挑戦は急遽中止する。A P S

写真も丁度完了となる。自宅には新越谷駅から武蔵野線を乗り継いで帰る。自宅には20時5分到着。今日は今年初めて、ヤクルト＝巨人戦をラジオで聞きながらの家路となる。結果は宮出に林がサヨナラホームランを浴び3対4で敗戦となった。折角、二岡で9回表同点となったのも束の間。仁志5三振が敗因。これで6勝8敗と5割ならず。本日の営業距離は26.1Km、万歩計は南林間駅まで往復歩きもあり67,684歩だった。



※北春日部駅、春日部駅



※一ノ割駅、武里駅



※せんげん台駅、大袋駅



※北越谷駅

## 第5節 北越谷～浅草

北越谷(9:30)～越谷(9:55)～新越谷(10:20)～蒲生(10:35)～新川～  
獨協大学前(11:35)～草加(12:00)～谷塚(やつか、12:55)～竹ノ塚(13:40)～  
西新井(14:30)～梅島(15:00)～五反野(15:20)～小菅～北千住(16:15)～  
牛田(16:40)～堀切(16:55)～鐘ヶ淵(17:17)～東向島(17:35)～曳舟(17:55)～  
押上(18:10)～東京スカイツリー(18:20)～浅草(16:36)

伊勢崎線のフィナーレ北越谷＝浅草 26Kmは、2005年4月29日(金)緑の日に挑戦する。本日は晴天に恵まれ、日中は30°C近くまでいったと思われる。ペットボトル(500ml)を今年最高本数5本要した。緑の日になると、去年の徹夜に近い状態での決算作業が懐かしく昨日のように思い出される。本日も出勤を覚悟していたが、異動の関係で免除となり、本日の機会を得た。南林間7時11分の電車で新宿、浅草橋、浅草と向かう。浅草8時42分の新栃木行き(準急)で北越谷駅に移動する。運良く新越谷でお隣の複々線から各駅停車北越谷行きが突然登場となる。前回は北越谷ではなく越谷までアクセスをしていれば本日のアクセスは効率的の考えていた矢先だけに驚いた。越谷で乗り換え、9時30分、目的地の北越谷駅に到着する。

本日は、色々な出来事と対面した。ひとつは、東武鉄道が複々線等の事業から遅れているとこれまで思っていたが、大きな間違いをしていた。これまで、東武野田線のイメージが強かった。複々線事業面では小田急よりかなり進んでいることを発見した。もしかすると、首都圏私鉄の中では東武鉄道が複々線事業で一番進んでいるかもしれない。北越谷から浅草にかけて鉄道は高架で、また北越谷辺りから北千住にかけて複々線であった。電車も東武鉄道本体の他に、田園都市線、半蔵門線、日比谷線と相互乗り入れしており、近代化には遅れをとっていない。その関係で色々な車両と対面した。近い将来、

新宿から直通で鬼怒川温泉まで行けるとのことである。



※越谷駅、新越谷駅

二つ目は、川との対面で東武鉄道に沿った橋がないため、3回500m位迂回を余儀なくされる。つまり、10時50分の綾瀬川、13時の毛長川（けなが）それから15時50分の荒川（北千住大橋）である。三つ目は、思わぬ遭遇である。これまでの143回のウォーキングを通じて、初めてCD綴りを忘れた。加山雄三のCDアルバムだけだったので、音楽なしのウォーキングが続いた。たまにはいいものであるがウォーキングが単調になった。13時30分、竹ノ塚駅手前で20歳台の若い女性から「在庫処分で商品を買いませんか」の勧誘に遭う。15時10分、五反野の陸橋を降りたところで、向こうから自転車に乗った50歳位の女性とぶっかりそうになる。それから、西新井駅近郊で道に迷う場面に遭遇した。ウォーキングは未知との出会い、筋書きのないドラマと接する。これがウォーキングの醍醐味であり、この魅力に取りつかれ、143回のウォーキングを継続できたと思う。



※蒲生駅、新田駅



※綾瀬川橋、松原団地駅（独協大学前駅）

北越谷駅、越谷駅それから南越谷駅は、近代的な駅ビルの中にあった。今日は大型連休の初日で好天に恵まれ、娯楽施設はどこもひとで一杯であろう。男のお子さんをもつ家庭では、鯉のぼりが勢いよく泳いでいた。越谷駅西口には 9 時 55 分位に到着。10 時開店を待つパチンコ屋の前では連休の一日を楽しもうと沢山の人が並んでいた。本日は概ね鉄道が高架になっており、この下を歩いた。南越谷駅西口には 10 時 20 分到着。この駅は数年前、武蔵野線踏破の際来たことがあるので愛着を感じた。駅の看板も紫の線にグリーンの文字ではなく、黒の駅名に紫の線のある看板であり、近代化されていた。蒲生駅東口には 10 時 35 分着。



※草加駅、谷塚駅（やつか）

本日は、北越谷駅から浅草駅の 26 Km の区間に 19 もの駅があり写真撮影に神経を費やした。この駅から少し行った先に綾瀬川（10 時 50 分）があり、この川を迂回するのに 300m 位左に沿う歩きを余儀なくされた。鉄道の近くに村社氏子中があった。綾瀬川を渡った先に「綾瀬川コース 3 Km」の看板があり、綾瀬橋～バードサンクチュアリーまでのコース説明の地図（途中、綾瀬川橋、一ノ橋、一之橋）があった。中でも印象的なのは、私の思いと一致したウォーキングの効用の記載である。

- ・ 血液の循環がよくなります。
- ・ 血圧が安定します。

- ・ 肥満の予防に役立ちます。
- ・ ストレスを解消し、よく眠れます。
- ・ 筋力、持久力を高めます。
- ・ 成人病の予防につながります。

残念ながら、北越谷から浅草間の途中 19 駅のうち、東京外環自動車道の手前にある新田駅、荒川越の手前の小菅駅をクリアできず。その代わりに旭天満宮（11 時 20 分）と対面できた。すなわち、伊勢崎駅から浅草駅 114.5 km の中でこの二駅を除きカメラに運良く収めることができた。松原団地駅には 11 時 35 分到着。この駅も近代的ビルの中にあった。洒落た橋の伝右川（でんう）を渡った先に、草加駅西口（12 時）があった。駅前のビルには、飲み屋顧客の争奪激化が目に見える「魚民」、「笑笑」、「白木屋」が同一建物にあった。この駅ビルにある杵屋でさぬきうどんを食べる。太陽が真上にあったので、この杵屋を出た後、進む方向を見誤りそうになる。念のため、通行人に聞いて方向性を確認する。本件は 5 年前、藤沢駅で同じような経験したので学習効果が働く。

12 時 55 分谷塚駅（やつか）を通過。この駅から竹ノ塚駅にかけて鉄道が高架から通常の形態に戻ってきた。埼玉県と東京都の境に毛長川（けなが）があった。25m 位の川幅で清流ではなく黒ずんだ川であった。この川をはさんで、埼玉県と足立区の清掃事務所があった。ここでも、川に沿って右に 300m 位迂回を余儀なくされた。谷塚橋を渡ると東京都であった。高い煙突を持った足立清掃事務所があった。この事務所から少しいった先で、旅行カバンをひきずった 25 歳位の若い女性がいきなり路地から出てきて、「在庫処分のため歩いている。カメラぐらい大きさのものを見せてかいませんか。」と声を掛けられる。当然ノーと回答する。時計を見ると、13 時半であった。



※竹ノ塚駅、西新井駅

先日鉄道事故を起こした竹ノ塚駅には 13 時 40 分到着。この駅の両側には 20m 位の道路が 2 本あり、黄色の帽子をかぶった交通整備員が鉄道を挟んでそれぞれ 2 人いた。

竹ノ塚駅前には十数台のタクシーが理路整然と並んでいた。駅改札口前では、緑の羽の募金活動で数人小学生が大声を出していた。竹ノ塚駅を少し行った先に東京メトロの車両検査所があった。足立洪生病院（14時5分）の通りを通り、高い天井でグリーンが印象的な西新井駅に14時30分到着。この駅の途中、大師線の方向に行こうとするが、頭上を通る2両編成の電車を見て、自分の進む方向が誤っていることに気づく。念のため、車を掃除していた人に聞いて確認をとる。この駅から800mしかない梅島駅まで25分要する。亀田小学校（14時45分）で道に迷ったと思い、梅島駅の確認をとる。やはり間違っるとんでもない方向に進んでいた。道を色々変えているうちに方向性を間違った。



※梅島駅、五反野駅



※小菅駅、北千住駅

2年前の外房線踏破の際、太東駅近郊の歩き場面が思い出される。一旦道に迷うと、自分が地下世界に入ったような気分になり、現在位置までのプロセスの再現ができなくなる。梅島駅は真っ赤な活字で書かれていた。ここでも、浅草がどちらの方向かを駅に向かって歩いている通行人に聞く。15時10分、陸橋を降りたところで、自転車に乗った50歳位の女性とぶつかりそうになる。こちらをにらめつけて謝罪もせずに通り過ぎた女性に大いに憤りを感じた。そういえば、数年前、ディズニーランド近郊で車に轢かれそうになったことがある。十分気をつけているつもりであるが。



15時20分、五反野駅到着。この駅は千代田線踏破の際誤ってこの駅に来たような気がする。五反野駅に沿って、200m位続く小川がある五反野コミュニティ公園があった。数人の小学生が裸足でこの川に入っていた。この光景を見ると香川での幼少から小学校時代を思い出す。15時50分、足立一丁目歩道橋を渡り、荒川を越える千住新橋の手前に来る。この橋は、千代田線、常磐線の踏破の際に通過した。何時来てもこの近郊はややこしい。宿場町通りに横山家住宅（千住4-28-1）があった。住宅の構造は鰻の寝床で、道路に面した敷地は13間しかないが、奥行きは56間と長い。このようなことを東京都教育員会が作った看板があった。丸井とルミネがある北千住駅に16時15分到着。牛田駅には16時40分到着。この駅の目の前に京成線の関谷駅があった。この駅は十年位まえ、通やで来たような気がする。東武（下）と京成（上）が複雑に交差していた。京成電車がきたので方向を確認したとこと「うすい行き」であった。不思議にも自分が想定した方向と逆であった。地図で確認したところ、線路が螺旋状になっていた。



※牛田駅、堀切駅

柳原病院（16時55分）の先に堀切駅があった。消防車がサイレンを鳴らして、17時5分通り過ぎる。この消防車は隅田山吉祥院多聞寺「本尊毘沙門天」の少し行った先で止まる。聞くところによると、訓練のためにサイレンを鳴らしたとのこと。人騒がせの話である。隅田小学校の先に鐘ヶ淵駅西口（17時17分）があった。この駅の看板も、東武鉄道の伝統的マークであるグリーンの文字に紫の線であった。17時30分、「ライター持っていませんか」と声をかけられる。東向島駅には17時35分到着。この駅から少し行った先に、東武博物館があった。特急「けごん」と日光駅と書かれた普通電車が展示していた。この看板の横に向島百花園の案内版もあった。白木屋の看板の目立つ、曳舟駅には17時55分到着。ここでも京成押上線との離合駅であったが、連携していなかった。この近郊は、毎朝通勤で通過しているし、北総線踏破の際学習済みであったので、押上駅（18時10分）をスムーズに見つけることができた。



※鐘ヶ淵駅

北総線踏破の際、この近郊で迷ったのが昨日のように思い出される。押上駅から 100 m 位歩いた先に半蔵門線、東武線等の看板があった。川に沿い工場が続く道路を 700m 位行った先に業平橋（なりひら）があった。18 時 20 分であった。辺りはうす暗くなっていた。ユニークな建物であるアサヒビール本社が隅田川に面してあった。吾妻橋（赤色の橋）を 18 時 36 分通過。対岸には水上バスがあった。水上バス乗り場に面した桜並木広場には 5～6 台の人力車があった。夜の浅草を案内するのであろう。本日の終点浅草には 18 時 45 分到着。自宅には朝と異なり、銀座線と田園都市線を活用して帰る。自宅には 20 時 30 分到着。万歩計は 65,529 歩であった。



※東向島駅、曳舟駅

本日は沢山の出来事に会うドラマもあったし、東武鉄道の素晴らしい一面を再確認できた一日でもあった。最近巨人軍の停滞ぶりに憤りを感じるこの頃であるが、なにはともあれ清原が 500 号本塁打を飾る記念すべき日に、114.5Km の伊勢崎線を踏破できて思い出の一日になりそうである。



※押上駅



※とうきょうスカイツリー駅



※浅草駅、浅草